

第廿五番 陽林寺（十一面観世音菩薩）

＊宗 派 曹洞宗

＊御本尊 釈迦牟尼如来

＊開 基 田代冠者藤原之秀忠 大永年間（一五二一―一五三二）

＊開 山 東 秀全尼 昭和二年

＊現住職 第三世 東 弘元

＊〒二二三―〇〇五四 横浜市港北区綱島台一―十八

＊☎〇四五―五三一―三八五三

＊東急東横線「綱島」駅下車徒歩十分 綱島公園西側

大永七年（一五二七）九月示寂した城田姓初代兵庫之守弥三郎（藤原秀忠と名乗り歴代武士）の守本尊十一面観世音菩薩を安位詞、代々の城田家一族が約四百年間追善供養を怠りなく堂守りをしてきた。歴代亡僧は不祥なれど、先住故東 秀全尼が昭和二年山号をとり水月山陽林庵と称した。この頃より寺門の興隆を見て、昭和五十年に至り第二世東 喆臣により、寺格昇（法地）等本堂再建をし、陽林寺となり現在にいたる。

ご 詠 歌

ふだらくを

ここにうつして

のりのこえ

たえぬめぐみは

みねのまつかぜ



（第25番 陽林寺）